

お部屋の中も風薫る 5 月 みなさん 一生懸命作りましたね



熱中症 予防行動をとりましょう!

熱中症警戒アラート
をチェック!

見守り・声かけ!
熱中症に気をつけて

適切に エアコンを使おう!

こまめに 水分・塩分を補給!

熱中症は誰でも危険! 油断は大敵です!

より詳しい情報は [熱中症予防情報サイト](#) 検索

風薫る 5 月というものの、各地で真夏日(最高気温30℃)が連続することもあり、これから夏にむけての暑さが心配です。くれぐれも体調管理には気を付けましょう。

熱中症とは、暑さによって体温調節がうまくいかなくなり、体内に熱が蓄積されて様々な体調不良がでることです。怖いのは重症になると命にかかわることです。毎年たくさんの方が亡くなられています。

暑熱順化 (しょねつじゅんか)
最近よく聞く言葉です。身体が徐々に暑さになれ、体温調節が向上し熱中症にかかりにくくすることです。7月にはバス旅行・8月には吹祭が予定されています。少しずつ汗をかきやすい身体にしましょう

ひかげをみつけて少しずつ歩いてみよう
ラジオ体操積極的に身体を動かそう
お風呂の湯船にゆっくりつかろう

ハートフルふきあげニュース

・協同 ハートフルふきあげ全事業所・協賛 ハートフルふきあげ保護者の会
ニュース VOL.49 2026.5.25

立夏・田植え・端午の節句



すべてはお米のため・田植えのため

5月になりました。煩わしいスギ・ヒノキの花粉の季節も去り、青空に新緑が映えるさわやかな季節になりました。“立夏・田植え・端午の節句” なんとなく5月かな?の印象ですが、立夏も端午の節句も田植えに関係します。



立夏 (りっか)

二十四節季の一つで夏の始まりを表します。立夏は太陽の角度から計算するために、年によって多少変わります。今年は5月5日でした。暦、カレンダー、時間・時の基準を定めたのは多くは農作業のためであります。とりわけ日本で大切なのはお米です。田植えの時期はいつがいいのか
今では様々な情報を得られますが、先人たちは太陽の動きなどから判断しました。たしかに日差しが強くなり、草木がしげる今日この頃ですね。田植えの時期に適する気候になりました。

端午の節句

(たんのせつく)

5月5日=こどもの日=端午の節句
この日は、こどものお祝い、鯉のぼりが風に吹かれる男の子のお祝いというイメージですよね。
しかし、これには長い歴史がありました。武士の世の中、江戸時代は武芸が盛んで勝負を決することが広く行われていました。花菖蒲をかざって男の子の成長を願う、また厄を払うことが今の認識につながりました。しかし、それ以前の厄を払うとは、田植えの前の厄を払い豊作を願うことであったのです。今でも稲作は自然の環境に大きく左右されます。稲が災害にあわず無事実りますようにとの願いがあったのです。



新理事長就任ご挨拶

伊津井奈々新理事長よりご寄稿いただきました。

このたび、令和8年4月1日付で理事長に就任しました伊津井奈々と申します。日頃より、利用者様、ご家族様、お取引様、地域の皆様、そして社員の皆様におかれましては、当法人の活動に暖かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

当法人では、就労継続支援 B 型やグループホームなどを通して、利用者様が安心して自分らしく生活していけるよう支援を行っております。就労継続支援 B 型では、自社製品である揚げ餅作りにおいて「農福連携」に取り組み、昨年より自社田んぼでもち米を育てるところから行っています。現在は田植えの時期を迎え、こうした活動も利用者様の大切な仕事のひとつになっております。今年の収穫も、皆様と喜びを分かち合えることを楽しみにしているところです。

また、たい焼きのご購入や、ペットボトル・アルミ缶・古紙・段ボールなどのリサイクル回収活動につきましても、皆様にご協力いただき、心より御礼申し上げます。皆様のご理解とご協力が、利用者様の安心や日々の活動につながっております。

昨今、障がい福祉サービスを取り巻く環境は大きく変化しており、利用者様おひとりおひとりに寄り添った充実した支援と、働くことを支える取り組みの重要性はますます高まっております。当法人においても、利用者様にとって安心できる場であり、働く喜びを感じられる場を継続できるよう、よりよい支援と新たな取り組みに努めてまいります。

今後とも法人の活動への変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



日本人の主食「ごはん」ごはんを食べるためにはお米を作る=稲作 手始めになるのが田植えですね。今月「ごはんの日」も迎えました。ごはんのおかずランキング 1 位は？ はい！ハンバーグ！と言いたいところですが最近鳥の唐揚げに抜かれたようです。でも性別・年代別でも常に上位のハンバーグ！なんじゃもんじゃのハンバーグは上質な牛肉と特製のたれ・味変アクセントに塩でも GOOD!。これはごはんのおかずナンバーワンです。ぜひ、ご賞味ください。

5 月 8 日ごはんの日

正確には ごはん・パンの日
ご(5)はん・ぱ(8)ん

ハートフルふきあげ農業部門



稲作の成功は田植え前の準備で8割決まる

とわれています

田植えの準備はいつからするのか、担当の支援員に話を聞いてみました。なんと、稲刈り後からすでに準備は始まっているとのことですが、本格的な準備は寒い2月からといかれました。準備にはトラクターが活躍します。作業の種類によって様々なアタッチメント(装置)を付け替えます。

①田おこし



稲刈りの後休んでいた田んぼの土は固く、また雑草が生えています。そこでトラクターで土を深く耕し、土をやわらかくし、空気を入れやすくします。また草を埋め込むことで草が生えにくくなるようです。

②肥料まき



よい稲が育つように土に肥料を施します。ポイントになるのは均一になるようにすることです。田植えの後も何度か追肥する予定です。

③あぜぬり



「あぜ」とは田んぼと田んぼの間の盛り上がり部分のことです。田んぼの水もれを防ぐためにきれいに整えます。



ハートフルふきあげの自社田んぼの「あぜ」です。見事に整っています。素晴らしいですね。「神は細部に宿る」です。

④しろかき

しろかきは、田んぼに水をいれ、田んぼを平らにする作業です。田んぼの状況や田植えとのタイミングで深さを調整する繊細な作業です。



しろかきの装置ハローを付けて低速で進みます。運転しているのは宇佐見支援員です。



自社の田んぼです。きれいですね。後は田植えを待つばかりです。



田植え今昔

Ⓜ️ すべて手作業。多くの人の手が必要だったため、家族はもちろんのこと地域社会の協力が必要でした。学校もお休みが認められ、親のお手伝いをしました。紐を張って、目印のところをたくさんの方で田植えをしました。

Ⓜ️ およそ60年前に田植え機が普及し、少人数でも田植えが可能になりました。田植え機で整然と均等に苗が植えられていきます。

※ ※ 苗がきれいに並んで植えるのは、風通しがよくなり、病気を防ぎ、実りの均等化を図るためです。

いよいよ田植えです



田植え機による機械化された作業ではありますが、人の手は必要です。利用者様と支援員が声かけあって作業をしました。



ハートフルふきあげとみはり事業所では4か所田植えをします。



順調に田植え機がすすんでいます。田んぼには水が必要です。水を分け合うことも稲作農家の大切なマナー。この日は流れてくる水の量が少なめで苦労がありました。

畑も収穫もうすぐ



じゃがいもの花が咲いています。よく見ると、花の色が違います。今年は数種類のじゃがいもを育てているとのこと。花が咲き終わり茎もしおれてくる頃が収穫時期です。来月かな？

千代田では総合水防演習



梅雨の時期を迎える前に、水害に備えた訓練です

千代田事業所はこの演習に見学参加しました。救命の大切さを学びました



左 柗障協のイベントにふきあげ事業所の皆さんが参加しました。運動公園のボランティア活動とレクで交流を図りました
右 柗木県障がい者スポーツ大会に参加しました。
※ 柗特3年刀川さんも金メダルとりました。

